

一般社団法人コミュニティネットワーク協会 2020年度事業報告

I 2020年度の重点活動

一般社団法人コミュニティネットワーク協会は、企業・団体・個人・自治体など様々な協力者のもとに、一人一人の生活者、一つひとつのコミュニティが相互に個性を生かしつつ支えあう、豊かなコミュニティ社会の実現を目指して活動しています。

今期も、昨年に引き続きこれまで進めてまいりました新たな地域コミュニティの拠点と在宅での生活を支える仕組みの展開ならびに「生涯活躍のまち移住促進センター」の運営を継続しながら、新たに地域コミュニティを推進していくための人材、地域プロデューサーの養成を重点課題として推進してきました。

1. 「100年コミュニティ」構想に基づく、コミュニティの拠点づくりの展開

2020年度は、コミュニティ事業の開発・構築・普及を行う目的で開催している「100年コミュニティをつくる会」の活動を継続し、関東・関西を中心に展開してきました。その取り組みは、子どもから高齢者まで、さまざまな価値観を持つ人たちが、世代や立場を超え、お互いの生活を尊重しながら、ともに支え合う仕組みのある「コミュニティ」づくり、それらを持続していく仕組みを持つ「100年コミュニティ」としてつくり上げてきました。

1) としま100年コミュニティ・プロジェクト

2019年度国交省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に選考された「空き家を活用した『としま福祉支援プロジェクト』」を展開中。23区で最も空き家率が高い豊島区において、空き家を活用したセーフティネット住宅「共生ハウス西池袋」(高齢者・障害者・生活困窮者の入居を断らない専用住宅)を2020年6月に開設。並行して多世代共生型の交流拠点「共生サロン南池袋」を同年7月に開設しました。

2) 多摩ニュータウン100年コミュニティ・プロジェクト

2020年7月、東京都住宅供給公社が公募した「多摩ニュータウン愛宕第二住宅及び松が谷住宅における地域交流拠点等整備・運営事業者募集(公募型プロポーザル)」に選定されました。さらに2020年12月、国交省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に当協会が提案した「団地プロデュース型コミュニティ再生計画」が選考されました。2021年3月、地域住民説明会を開催。コロナ禍にもかかわらず、50人を超える地域住民が参加しました。

3) 那須100年コミュニティ・プロジェクト

(1) 那須まちづくり(株)向け支援

① 那須まちづくり(株)が毎月開催する「人生100年・まちづくりの会」の開催・運営の支援

4月11日、5月9日、6月20日、7月5日、8月23日、9月22日、

10月25日、11月21日、12月12日、2月13日、3月13日の11回開催

② 終活、生活設計、サービス付き高齢者住宅とは、地域包括ケアなどのセミナー開催支援

(2) 高齢者住宅情報センター・移住促進センターの運営

場所: 那須まちづくり広場よろず相談室

① 移住定住支援センター

・那須町ふるさと定住課 : 賃貸物件2件を相談、紹介。

・化学物質過敏症や香害患者の家探し

・移住前の物件探し時の手頃な宿泊所の紹介

・地元不動産屋との連携

② 高齢者住宅情報センター

・相談内容: 高齢者住宅がよいか一般住宅が良いか

(3) 合葬墓

1) ゆいま〜る那須の入居者向けの見学会、説明会を開催

① 4月26日 見学会にそなえ現状確認: 杉村、鎚木、佐々木、近山

②5月5日 見学会;参加11名

③5月27日 説明会:参加3名

2) 終活についてのセミナー支援

2. 会員の拡大

当協会の活動をより多くの方々に広めていくことが、一般社団法人コミュニティネットワーク協会にとりましては、現在の時世の流れにおいて、より重要な役割となっています。コミュニティの拠点づくり活動を核として、よりいっそう個人会員の拡大、共に理念実現に向けて連携していく法人・団体会員の拡大をするために活動をしてきました。

II 定款事業計画

1. 社会の変革に対応し、人間性豊かな、住民自治に基づくコミュニティづくりを具体的に探求するための調査・研究及び提言等を行う(定款第4条(1)事業)

1. 委員会活動

(1)まちづくり委員会

最後まで安心して暮らせる住まい、のびのびと子育てができる空間づくりは、地域にとっても必要な課題です。多世代が共に豊かに暮らせる地域にするために、地域の生活者ニーズに合った、コミュニティの構想、環境や資源の問題への配慮・問題解決とも絡めて、自治体・NPO・企業などと連携しながらまちづくりを進めてきました。(としま・まちごと福祉支援PJが該当)

(2)完成期医療福祉委員会

一人ひとりが充実した最期をもって人生を完成させるために、自らが望む生活、納得できる場を追及し、そこに寄り添える場、コミュニティの拠点として可能な場づくりなど、完成期医療福祉の構築ができるように啓発活動と、昨年からの始めた話し合いの場を継続し、調査・研究を進めました。

(3)コミュニティファンド委員会

地域の拠点づくりを行う上で大きな課題となる財源を、地域事業を支援する市民が輩出する「コミュニティファンド」による資金調達が可能か、まちづくりを継続するために必要な資金をコミュニティファンドという仕組みで広げていくことが可能かなど、問題解決を行うための調査・研究を引き続き行ってきました。

公益財団法人・信頼資本財団の「共感助成」においてコミュニティファンドを募集しました。

<https://congrant.com/project/shinrai/2075>

2. 調査・研究事業

<在宅ケアを支えるシステム>の制度設計調査研究

暮らしと住まいの情報センターでは高齢者住宅への住み替え相談業務を主として対応していますが、相談者のニーズ調査の結果、本音は「自宅にぎりぎりまで暮らしたい」「介護が必要になった時は不安だが、それまでは自宅がよい」という意見が多く、これらのニーズに応えるために、在宅でも安心安全に暮らせる地域ケアシステムづくりの調査・研究を進めてまいりました。

2. コミュニティづくりを推進するための事業を開発し、事業の運営組織のネットワークを構築し、コミュニティ事業を普及する「暮らしと住まいの情報センター」事業(定款第4条(2)事業)

高齢者の福祉と権利擁護の増進事業

1) 暮らしと住まいの情報センターの常設

情報の受発信や、相談を受けて問題解決する場として、高齢者住宅、ふるさと暮らし、地域再生を柱とした「暮らしと住まいの情報センター」を常設しています。東京(池袋)と大阪(北区堂島※)の高齢者住宅情報センターではウェブや通信物等で情報発信するほか、常設の展示場での情報提供、専門の相談員による住みかえを主とした相談業務を行ってきました。

※2019年10月より北区堂島に移転

居住支援法人の活動

1) 2020年6月東京都の居住支援法人の指定を受けました。居住支援法人は住宅セーフティネット法に基づき、居住支援を行う法人のことで、住宅相談など賃貸住宅への円滑な入居にかかる情報提供・相談、見守りなど要配慮者への生活支援、これらに付随する業務などを他の居住支援法人と連携して進めました。

<2020年度の活動報告>

1 高齢者住宅全般の解説や選び方セミナー、フォーラム等企画の開催。

<東京>

- セミナー (2020年度開催なし)
- 外部セミナー (2020年度開催なし)
- 外部セミナー(一般企業) (2020年度開催なし)
- 会員事業者による情報交換や、既存新規開設ホーム等の見学会
(コロナ禍による影響を受け、開催なし)

<大阪>

- セミナー 2020年度開催なし
- 高齢者入居フォーラム
- 会員事業者による情報交換や、既存新規開設ホーム等の見学会
(コロナ禍による影響を受け、開催なし)

2 住まい方についてのニーズを聞く会を定期的に行い、情報提供や意見交換、勉強会を行うほか、利用者同士の交流の場としても活用。

東京大阪ともに開催なし

3 高齢者住宅の住み替えだけでなく、それに伴う生活設計、後見人制度や身元引受人、相続の問題なども講師を招いて勉強会を継続的に開催

<東京>	
・テーマ:「あうるへるすの会」 ・講師: あうるへるすの会/代表佐伯晴子さん、副代表高野千尋さん、ソプラノ歌手廣瀬史佳さん ・会場: 共生サロン南池袋	2020年9月29日
・テーマ:「自分と家族の人生を守るための、介護保険の基礎知識」 ・講師: 介護離職防止対策促進機構 代表理事 和氣美枝さん ・会場: アットビジネスセンター池袋駅前 別館 606号室	2020年10月24日

<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「『親をキライにならない為の家族介護のススメ』著者羽吹さゆりさんに訊く、仕事と介護の両立セミナー」 ・講師：介護人材育成事業アモールファティ代表 羽吹さゆりさん ・会場：共生サロン南池袋 	2020年10月30日
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「WAKUWAKU ネットワークが育んできた地域で見守るとしまの子ども」 ・講師：NPO 法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長 栗林知絵子さん ・会場：共生サロン南池袋 	2020年11月12日
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「安心のセカンドライフのために知っておきたい、家族信託・任意後見の基礎知識」 ・講師：司法書士村山澄江事務所 代表 村山澄江さん ・会場：共生サロン南池袋 	2020年11月19日
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「人生100年時代！ひとりの不安がなくなる もしもの時とお金の備え方」 ・講師：一般社団法人包括あんしん協会 代表理事 大和泰子さん ・会場：共生サロン南池袋 	2020年12月11日
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「第一回多世代交流 健康麻雀大会」 ・講師：NPO 法人発達障がい者を支援する会／理事 濱田知希さん ・会場：共生サロン南池袋 	2020年3月27日

4 外部セミナー

<東京>

2020年度開催なし

<大阪>

◆神戸市すまい安心支援センターとの業務受託継続し、出前セミナー等を開催

すまいるネット高齢期のすまい方セミナー「自分で決める老後の住まい方」	2020/8/27
すまいるネット高齢期のすまい方セミナー「自分で決める老後の住まい方」	2020/11/16

5 メディア露出状況

<テレビ>

日付	媒体名	番組名・タイトル	取材対象
2021/1/29	NHK—BSワールド JAPAN「TOKYO EYE 2020」	新しい住まいのカタチ	共生ハウス西池袋
2021/2/11	テレビ東京	TOKYOほっと情報～都議会トピックス～	共生ハウス西池袋

<新聞・雑誌記事>

(新聞記事)

日付	媒体名	タイトル	取材対象
2020年5月	不動産投資と収益物件の情報サイト「健美家」	長期安定が狙える不動産投資！住宅、民泊が難しい時代の新活用、福祉転用に新事例	共生ハウス西池袋
2020年5月	全国賃貸住宅新聞	地域問題 解決に動く	共生ハウス西池袋
2020年6月	LIFULL HOME'S PRESS 掲載	空き家活用で「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」が目指す都心部の孤立、貧困の解決法	共生ハウス西池袋
2020/9/11	東京新聞	池袋で空き家活用プロジェクト	共生ハウス西池袋、共生サロン南池袋
2020年9月	高齢者住宅新聞	池袋で空き家活用プロジェクト	共生ハウス西池袋
2020年10月26日	スーモジャーナル	コロナ禍で失われた高齢者の居場所。豊島区で「空き家を福祉に活かす」取り組み始まる	共生ハウス西池袋、共生サロン南池袋
2020年11月5日	公明新聞	空き家を福祉に活用 住まいの確保で意見交換	共生ハウス西池袋
2020年11月28日	公明新聞	生活弱者の住まい確保	共生ハウス西池袋、共生サロン南池袋
2020年11月30日	ヤフーニュース	女性セブンの記事配信	共生ハウス西池袋
2021/3/30	読売新聞	多摩ニュータウン50年 団地再生住民の手で	多摩プロジェクト(松が谷)

(雑誌)

日付	媒体名	タイトル	取材対象
2020年7月	豊島区の街の情報誌「とっぴい豊島の選択」109号掲載	豊島区初！空き家対策	共生ハウス西池袋
2020年9月	シニアビジネスマーケット2020年9月号	東京、豊島区でセーフティネット住宅＋交流拠点による社会的弱者を支えるしくみ	共生ハウス西池袋、共生サロン南池袋
2020年11月19日	女性セブン	もっと視野を広げてさがそう年を取ってからの住まい	共生ハウス西池袋
2021年3月	オーナーズスタイル「春号」	一軒家を工夫して「東京ささエール住宅」に/改修費用を抑えつつ、安定経営を実現	共生ハウス西池袋
2021年3月	豊島区・空き家ハンドブック	空き家の活用事例	共生ハウス西池袋

2021年3月	みんなの介護	ビジョナリーの声を聞け 空き家を活用して高齢者の住居を守る	共生ハウス西池袋、共生サロン南池袋
2021年3月	国民生活 特集2	高齢期の住まいを考える—自分に合った高齢者向け施設・住宅の見つけ方	高齢者住宅情報センター

6 定期刊行物発行

2020年度の発行はありません

3. 高齢者等がグループで共住する場、コミュニティの交流の場、コミュニティ事業の拠点等、新しい生活スタイルを実現するコミュニティの場づくりを支援する(定款第4条(3)事業)

1) 地域コミュニティづくり及び団地再生を支援

「100年コミュニティ」の理念を具現化し、地域とのコミュニティの交流の拠点、ワーカーズ・コレクティブの活動など地域に必要な、生活に密着した仕事を創出することで、地域の活性化やコミュニティの場づくりを支援してきました。

団地再生は建物だけではなく、そこに暮らす人、若者から高齢者まで含めた団地全体の活性化です。100年コミュニティの拠点として、新しい生活スタイルを実現する場づくりを今期も支援してきました。団地再生のコミュニティの拠点は、関東だけでなく、全国の団地でシステムが活用できるように継続して進めてきました。

2) 地域に点在する空き家活用を支援

としま・まちごと福祉支援プロジェクトにおいて、一軒家を改修し、4戸のシェアハウスを整備し、共生ハウス西池袋を開設。多世代共生型の住まい方を支援。全国の空き家を活用した社会的弱者を支える住まいモデルを推進。

3) 地域に点在する空き室活用を支援

としま・まちごと福祉支援プロジェクトにおいて、空き室を改修し、交流拠点を整備し、共生サロン南池袋を開設。多世代共生型のコミュニティの場を支援。全国の空き室を活用した社会的弱者を支える交流拠点モデルを推進。

4) 団地の空店舗活用した団地再生を支援

多摩プロジェクトにおいて、松が谷コミュニティプレイス準備室を設置し、スーパー跡地を活用した交流拠点の計画を推進。全国の団地の商店街再生モデルを推進。

5) 社会福祉法人の経営再生を支援

社会福祉法人のコンサルティング業務を受託し、東京都小竹向原において、空き室活用、障害者事業、福福連携の導入等を検討し、全国の社会福祉法人の経営再生モデルを推進。

4) 多文化共生型コミュニティ支援

株式会社夕日紅のコンサルティング業務を受託し、大阪府八尾市において中国残留邦人のための住まいと医療、食を通じた交流拠点整備を支援。

4. コミュニティ事業の指導者、組織者、協力者等の人材を研修、育成するとともに、そのネットワークを構築して協力関係づくりを推進する(定款第4条(4)事業)

1) 地域プロデューサーの自主的な活動をサポートします。

コミュニティづくりには、人・もの・金・空間をトータルでプロデュースできる人材が欠かせません。当協会の理念、事業がさらに広がるために、各地区にて、そのノウハウを活用できる地域プロデューサーの取組みを応援しました。

「第8回女性のための女性講師による地域プロデューサー養成講座」共生サロン南池袋を会場に下記日程で開催しました。

8/22(土)	株式会社ハウスメイトマネジメント ソリューション事業本部 課長 伊部尚子さん「不動産事業を通して進める小さなまちづくり」
8/29(土)	一般社団法人コミュニティネットワーク協会 那須支所長 那須まちづくり株式会社 代表取締役 近山恵子さん「みんなで進める生涯活躍のまち 8月29日(土)14時～17時 ～移住した那須町(栃木)

	県)で挑む小学校跡地を活用した地域づくり」
9/5(土)	(有)羽吹デザイン事務所 介護事業部 AMOR FATI アモールファティ 代表 羽吹さゆりさん 9月5日(土)14時～17時「女性が変わる超高齢者化時代と キャリアアップ」

2)他団体との連携を深めます。

元気ができる地域づくりを支援するためには、地域住民と自治体、企業、NPO などが連携・ネットワークを構築することが欠かせません。他団体との連携を積極的に進め、本事業の活用を進めました。

3)人材育成

人材育成プロジェクトについて今期は、第8回地域プロデューサー養成講座を大学と連携しながら開催し、自治体、企業、地元の住民、NPO などと連携しながら、地方創生事業、資金調達、人材の育成などさまざまな役割を持ち、持続可能なまちづくりをプロデュースする人材の育成を進めてきました。

としま・まちごと福祉支援プロジェクトの中で、高齢者、障害者を雇用と人材育成を試みました。

6. コミュニティ事業及びコミュニティづくりを促進するための企画の実施及び啓発・広報・出版を行う(定款第4条(5)事業)

広報・編集委員会

1)会報誌「ゆいま～る」を年1回発行します

「コミュニティづくりをサポートする」ため、当協会の理念、活動の啓蒙・啓発する媒体としている会報誌「ゆいま～る」ですが、第51号の発行はできませんでした。

2)通信を発行します

事業プロジェクトの理念や活動を広げるために「ひろがる・つながる 100年コミュニティ」を3ヶ月に1度発行しました。法人賛助会員事業者の情報を始め、協会の理念を共有する業界の有識者の方々にご協力をいただき、座談会の開催や、訪問取材など読み応えのある内容で情報発信を続けて参りました。また、会員の皆様方には、関東は「銀座通信」、関西は「茶屋町通信」としてホームを運営している事業者情報とセミナー情報を発信しました。

3)ホームページを充実させます

①協会及び高齢者住宅情報センターのHPの検討と充実を図りました。

「プロジェクト」のページより、「那須まちづくり広場」「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」のページが閲覧できるようになりました。

②リンク先を検討していきますが、今期は出来ませんでした。

7. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条(6)事業)

1)見守り制度、市民後見人制度

市民後見制度は、将来の老いの不安に備えた「老後の安心設計」であり、「100年コミュニティ」構想には欠かせない問題となっていますが、そのための安心システムの検討と構築に関する取り組みは出来ませんでした。

2)共同墓地運営管理

<東京>

「ゆいま～る合葬墓合同供養祭」コロナ感染拡大のため中止

<大阪>

「ゆいま～る合葬墓合同供養祭」コロナ感染拡大のため中止

<那須>

「ゆいま～る合葬墓合同供養祭」御供養の対象となる方がいらっしやらないので実施せず。

Ⅲ. 協会運営

1. 総会

* 2020年6月12日

2. 臨時総会

* 2020年4月7日 定款変更(定款4条5項の削除・外国人技能実習生の受入事業、居住支援法人指定等)並びに社員の除名

* 2021年3月5日 定款変更(主たる事務所設置場所移転の件)

3. 理事会(議事録確認の上、記載)

* 2020年度第1回:4月7日

* 2020年度第2回:5月25日

* 2020年度第3回:6月25日

* 2020年度第4回:2月20日

3. 常務理事会 開催なし

4. 会員加入促進活動

1) 会員の入会促進

・セミナー・フォーラム時などでの個人会員の募集および法人会員の募集を行いました。

会員加入状況 2021年3月31日現在 下記は更新確認済。

法人:正会員 0 賛助会員 4 法人:正会員 0 賛助会員 4

団体:正会員 1 賛助会員 0 団体:正会員 1 賛助会員 0

団体:正会員 1 賛助会員 0 団体:正会員 1 賛助会員 0

個人:正会員 23 賛助会員 105 個人:正会員 23 賛助会員 109

合計 正会員 24 賛助会員 109=133

2) 情報提供の拡充

・各種セミナー・フォーラムなどの情報を通信やメルマガを使って提供しました。

協会フェイスブック

以上